

# 明治文學全集

全99巻・別巻(全100冊)  
特別限定復刊

全集出版の歴史に残る金字塔が蘇る!



筑摩書房

小泉八雲記念館 松江市



造本体裁 菊判上製/カバー装/8ポ2段組/各巻平均452頁/口絵1丁/月報8頁付

本巻1～99 各巻定価7,875円(税込) 本体価格7,500円  
別巻 定価15,750円(税込) 本体価格15,000円  
全99巻・別巻セット 定価795,375円(税込) 本体価格757,500円

2012.8 AKATSUKI

※ご注文・お問い合わせは、お近くの書店様、または下記・小社営業局まで  
この度の復刊は数に限りがございます。お早めにご注文ください

予約募集中 2013年2月セット出来

筑摩書房 〒111-8755 東京都台東区蔵前2-5-3  
電話 03(5687)2680 FAX 03(5687)2685

## 明治文學全集

セットISBN: 978-4-480-10300-0

### 全99巻・別巻セット

定価795,375円(税込)  
本体価格757,500円

●ご注文数

セット

●お名前

●ご住所

●お電話番号

●お申し込み書店

※ご希望巻のご注文は、別紙注文一覧表をご利用ください

# 明治の文学遺産その画期的な集大成！

## 編集者の一人として

柳田 泉

此の全集の発表にあたり、編集者の一人として一言せよという。その一言は、心からの驚異と大きなよろこびといふに尽きる。驚異というのは、一部幾百頁という巨巻大冊を全百巻にわたって順次刊行するという、その企画者刊行者の根性のしたたかきにあるが、大きなよろこびの方には、もっと複雑なものがある。第一は私自身のため、私は生涯をこの道に生きて来たものである。ついでには、先人のため、明治文学に関係ある著作家、思想家、ひろくいつて文学者のためで、これは諸家の努力と存在を伝える大記念塔である。第三には現在並びに後進の研究家のためで、この記念塔がそのまま研究資料の大宝庫となつて、永遠の大道標とならう。従来、奈良朝、平安朝の文学は、日本文学史上、画期的な古典の名によって尊重されて来たが、今日では、正直をいうと明治文学も、西洋を消化して世界に比肩したという点で、これ等に劣らぬ古典的威厳をもっているものである。しかも奈良、平安は、ついに結集の機を失って散佚の悲運に会つたが、明治文学は、今ならばまだその機がある。関東震災、大東亜戦の二災をしのいだ今日こそ、真に結集の機といふべきであらう。企画者刊行者の炯眼はそこをとらえたものであろうか。編集者の一人として、驚異しつつ、心からよろこんで、完成を待つものである。

(刊行開始に際して寄せられた編者代表のことば)

## 明治の「文学の森」への道しるべに

- \* のべ十二万項目の語句事項を収載
- \* 五十音順を基本に関連項目を一括
- \* 原文表記で採録し検索方法に工夫
- \* 索引のほかに総目次も併載

## 組見本 総索引

固有名詞(地名・人名・書名など)は代表項目に集め、異表記はすべて羅列しました。

巻数頁数の間に著者名を略記し、誰が使った語句か一目でわかるように工夫しました。

(「」内は原文の注し方)

他愛主義	ダーウィン(チャールズ)	34 蘇峰(三)	40 野の人(三)
ダーウィン	三三	39 龍三(三)	46 梁川(三)
三三	48 八雲(三)	70 秋江(三)	88 義園(三)
49 モリス(三)	3 茂樹(三)	12 辰猪	40 竹風(三)
ダーウィン	3 茂樹(三)	12 辰猪	87 黄洋(三)
三三	13 兆民(三)	17 おむろ(三)	41 龍映(三)
37 重昂(三)	50 臨川(三)	79 抱月	43 天溪(三)
三三	80 哲次郎(三)	80 嚴賢(三)	83 秀湖(三)
87 圓了(三)	88 弘道(三)	88 義園	35 愛山(三)
100 龍	98 奮庵(三)	3 茂樹(三)	83 秀湖(三)
ダーウィン	3 茂樹(三)	31 敏一(三)	41 龍映(三)
ダーウィン	41 龍映(三)	80 弘之	35 愛山(三)
三三	80 嚴賢(三)	33 雪嶺(三)	75 長江(三)
タルウィン	33 雪嶺(三)	34 蘇峰(三)	88 義園(三)
タルウィン	34 蘇峰(三)	34 蘇峰(三)	12 辰猪(三)
タルウィン	33 雪嶺(三)	33 雪嶺(三)	49 藤猪(三)
三三	35 愛山(三)	35 愛山(三)	98 奮庵(三)
37 重剛(三)	60 詩抄(三)	80 勇次	3 孝平(三)
タルウィン	13 兆民(三)	88 介石(三)	70 秋江(三)
タルウィン	27 鷗外(三)	40 樗牛(三)	31 敏一(三)
66 獨歩(三)	79 鷗外(三)	79 半峰(一)	37 南(三)
陀(三)	79 半峰(一)	16 逍遙(一)	31 敏一(三)
大因(三)	80 茂樹(三)	4 撫松(三)	79 半峰(三)
太末(三)	3 茂樹(三)	3 茂樹(三)	97 レンガ(三)
達因(三)	3 弘之(三)	3 弘之(三)	79 半峰(三)
達賢(三)	3 弘之(三)	12 辰猪(三)	7 魯庵(三)
道賢(三)	3 弘之(三)	80 周(三)	7 魯庵(三)
Darwin	79 光太郎(三)	27 鷗外(三)	「タルトウフ」
Darwin	40 野の人(三)	「タルトウフ」	「タルトウフ」
ダーキン主義	「ダーキン主義」	「ダーキン主義」	「ダーキン主義」

地名は原則として、日本の場合その所在する県名を、外国の場合は国名を注記しました。

近代日本を築いた明治年間の文学遺産を多方面に網羅する、わが国初の歴史的大全集。

小説偏重のゆがんだ文学観を是正し、広義の文学の視野に立って歴史的系統的に編集。

明治の文学は小説・詩歌中心の狭義の文学の枠では把えることはできません。福沢諭吉、内村鑑三など時代に大きな影響を与えた思想家・宗教家・新聞人・民間史学者等のすぐれた業績もまさに文学として大きな意味をもっています。本全集では、これらの諸著作を積極的に収録しました。また全巻の構成は例えば、流派・結社をなしている場合は、「徳富蘇峰集」「山路愛山集」「民友社文学集」の順のごとくにまとめ、ジャンル別の場合は、「明治政治小説集」「明治翻訳文学集」等に編集して、活躍期にしたがった排列としましたので、明治期の思想・文学の流れを歴史的・系統的にたどれます。

未発表資料・稀覯本・入手困難な著作をできる限り収め、埋もれた作品を発掘・収録。

徳富蘇峰、三宅雪嶺、中江兆民、齋藤緑雨、黒岩涙香等の主要著作でも、今日一般には入手困難です。本全集では、右のような明治の巨峰は独立の巻とすると共に、近代日本の研究・理解に不可欠の埋もれた諸著作を発掘・収録しました。例えば、「明治開化期文学集」「大井憲太郎・植木枝盛・馬場辰猪・小野梓集」「女学雑誌・文学界集」「ベルツ・モリス・モラエス・ケール・ウォッシュバン集」「明治漢詩文集」「初期白樺派文学集」等は本全集ならではの特色ある巻です。また、武者小路実篤「荒野」、徳富蘇峰「官民調和論」等は明治以来初の再刊であり、巖谷小波の日記、島村抱月の渡英滞英日記、セルフイーの「史学」等は、本全集によって初めて活字化された未発表資料の代表的なものです。

最適の専門研究者による責任編集。編者選定の最良底本による厳密な校訂を経て発表時の姿を再現する。

各巻の責任編集者はいずれも明治文学に造詣の深い専門家・評論家で、さらに年譜・参考文献等に気鋭の研究家が積極的に参加しています。底本は編者の選んだ最良のものに厳密な校合・校訂を加え、可能な限り原文の形を尊重します。即ち、資料としての重要性も考慮して、明治特有の漢字・仮名づかい・傍点・傍線を復元し、原典の口絵・挿絵も多数収めて発表時の姿を再現、さらに、原稿、初出誌、初版本写真、肖像など、資料的に重要なものを口絵に収めています。

代表的研究・作家論作品論を各巻に収め、さらに詳細な解題・年譜参考文献を併録。

当時から現在までの代表的な研究・作家論・作品論を各巻に数編ずつ収め、時の流れを追ってどのような評価を受けてきたかが分かるように配慮されています。綿密な解題と共に、全巻併せると、それだけで膨大な明治研究論文の集大成といえます。さらに本全集のために作成された年譜・参考文献・年表は最高の研究成果を示すと共に、今後の明治文学・近代文化研究に必須のものとして、その利用価値を高く評価されています。

\* 第37回 毎日出版文化賞特別賞受賞  
\* 第37回 菊池寛賞受賞



菊判上製・カバー装・8ポ2段組  
※この度の復刊に際し、貼函からカバー装へ変更しました

全巻内容

収録作品の末尾に、他とあるものはその巻に含まれる他の作家にもあ

1 明治開化期文學集(一)

興津要編(匿名垣魯文) 安徳染葉(桑野樗牛・染葉延寿) 近世紀

2 明治開化期文學集(二)

大久保利謙編 西岡貞直・杉野二・加藤弘之・津田幸平・森

3 明治啓蒙思想集

成島柳北 栗本鋤雲集

4 服部撫松

服部撫松 栗本鋤雲集

5 明治政治小説集(一)

明治政治小説集(一)

6 明治政治小説集(二)

明治政治小説集(二)

7 明治翻譯文學集

明治翻譯文學集

8 福澤諭吉集

福澤諭吉集

9 河竹默阿彌集

河竹默阿彌集

10 三遊亭圓朝集

三遊亭圓朝集

11 福地櫻痴集

福地櫻痴集

12 大井憲太郎

大井憲太郎 植木枝盛集

13 馬場辰猪

馬場辰猪 小野梓集

14 中江兆民集

中江兆民集

15 矢野龍溪集

矢野龍溪集

16 坪内逍遙集

坪内逍遙集

17 二葉亭四迷

二葉亭四迷 嵯峨の屋おむろ集

18 尾崎紅葉集

尾崎紅葉集

19 廣津柳浪集

廣津柳浪集

20 川上眉山

川上眉山 巖谷小波集

21 泉鏡花集

泉鏡花集

22 硯友社文學集

硯友社文學集

23 山田美妙

山田美妙 高瀬文淵集

24 石橋忍月

石橋忍月 高瀬文淵集

25 内田魯庵集

内田魯庵集

26 根岸派文學集

根岸派文學集

27 森鷗外集

森鷗外集

28 齋藤緑雨集

齋藤緑雨集

29 北村透谷集

北村透谷集

30 樋口一葉集

樋口一葉集

31 上田敏集

上田敏集

32 女學雑誌・文學界集

女學雑誌・文學界集

33 三宅雪嶺集

三宅雪嶺集

34 徳富蘇峰集

徳富蘇峰集

35 山路愛山集

山路愛山集

36 民友社文學集

民友社文學集

37 政教社文學集

政教社文學集

38 岡倉天心集

岡倉天心集

39 内村鑑三集

内村鑑三集

40 高山樗牛

高山樗牛 齋藤野の人集

41 鹽井雨江

鹽井雨江 武島羽衣

42 大町桂月

大町桂月 久保天随集

43 笹川臨風

笹川臨風 樋口龍映

44 徳富蘆花集

徳富蘆花集

45 山下尚江集

山下尚江集

46 新島襄

新島襄 植村正久集

47 清澤滿之

清澤滿之 綱島梁川

48 黒岩涙香集

黒岩涙香集

49 小泉八雲集

小泉八雲集

50 ベルツ モース

ベルツ モース ケーベル集

51 モラエス

モラエス ケーベル集

52 ウオシュバン

ウオシュバン

53 金子筑水

金子筑水 田中王堂

54 片山孤村

片山孤村 中澤臨川集

55 魚住折蘆

魚住折蘆

56 石川啄木集

石川啄木集

57 正岡子規集

正岡子規集

58 伊藤左千夫

伊藤左千夫 長塚節集

59 夏目漱石集

夏目漱石集

60 高濱虚子

高濱虚子 河東碧梧桐集

61 明治俳人集

明治俳人集

62 土井晩翠

土井晩翠 蒲原有明集

63 薄田泣菫

薄田泣菫

64 河井醉茗

河井醉茗 横瀬夜雨集

65 伊良子清白

伊良子清白 三木露風集

66 明治詩人集(一)

明治詩人集(一)

67 明治詩人集(二)

明治詩人集(二)

68 明治漢詩文集

明治漢詩文集

69 佐佐木信綱

佐佐木信綱 金子薫園

70 尾上柴舟

尾上柴舟 太田水穂集

71 窪田空穂

窪田空穂 若山牧水

72 明治歌人集

明治歌人集

73 小杉天外

小杉天外 後藤宙外集

74 小栗風葉

小栗風葉

75 國木田獨歩集

國木田獨歩集

76 田山花袋集

田山花袋集

77 徳田秋聲集

徳田秋聲集

78 島崎藤村集

島崎藤村集

79 眞山青果

眞山青果 近松秋江集

80 岩野泡鳴集

岩野泡鳴集

81 水野葉舟

水野葉舟 中村星湖集

82 三島霜川

三島霜川 上司小劍集

83 永井荷風集

永井荷風集

84 明治反自然派文學集(一)

明治反自然派文學集(一)

85 明治反自然派文學集(二)

明治反自然派文學集(二)

86 初期白樺派文學集

初期白樺派文學集

87 明治史論集(一)

明治史論集(一)

88 明治史論集(二)

明治史論集(二)

89 明治藝術・文學論集

明治藝術・文學論集

90 明治哲學思想集

明治哲學思想集

91 明治女流文學集(一)

明治女流文學集(一)

92 明治女流文學集(二)

明治女流文學集(二)

93 明治宗教文學集(一)

明治宗教文學集(一)

94 明治宗教文學集(二)

明治宗教文學集(二)

95 明治歴史文學集(一)

明治歴史文學集(一)

96 明治歴史文學集(二)

明治歴史文學集(二)

97 明治新聞人文學集

明治新聞人文學集

98 明治紀行文學集

明治紀行文學集

99 明治少年文學集

明治少年文學集

100 明治記録文學集

明治記録文學集

101 明治戦争文學集

明治戦争文學集

102 明治文學回顧録集(一)

明治文學回顧録集(一)

103 明治文學回顧録集(二)

明治文學回顧録集(二)

別巻 總索引

別巻 總索引



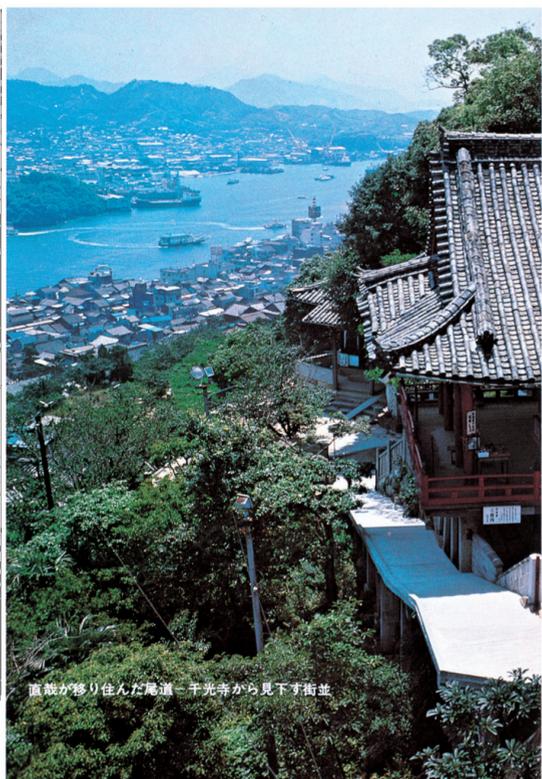
抱月とその日記
龍皇塚にある
蓮花の文字碑



硯友社の楽屋」とその総帥紅葉



榎木面で話題になった



直哉が移り住んだ麓道。千光寺から見下す街並

牛店 安愚樂鍋

牛店 安愚樂鍋初編自序



世界各國の諺に。佛蘭西の着倒れ。英吉利の食だふれと。食墓に...

明治四歲 辛未の卯月初の五日 東京本石街萬安閣の隠居に於て

牛の煉藥黒牡丹の製主 假名垣魯文題



年ごろの三十四五の男のあきぐるの...

西洋好の聴取

- 西の好の聴取
○墮落の廊話
○鄙士の獨益
○野村の語言
○諸人の俠言
○生文の會談

標目從初編至貳編

是に洩れたるハ嗣編に著すべし

- 商會計
○數個の胸會計
○文盲の無茶論
○半可の浮世談
○人車の引世言
○話家の樂屋落

1卷 明治開化期文學集(一)より

ながひさらさの下着うらなははかりかへしのがくうらなる
をかたひらへおさくるしいさんだんにてもとめたる袖時